

今年の防災訓練は

ぜひともうちで

このように大災害時の被災者支援のために各地の社協では災害ボランティアセンターの設置をマニュアル等で定めており、この立ち上げ訓練が計画的に実施されています。

宍粟市社協でも災害救援マニュアル策定時に立ち上げ訓練を行いました。これ以降は実施していません。そのことから、昨年末市長へ提出した要望書に「災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練を行政と一体的に実施できるように配慮願いたい」と記載しており、この訓練を今年にはぜひとも行いたいと考えています。

災害は忘れないうちにやってくるは昨今の現実

おりしも今年は西播磨地域全体の総合防災訓練が宍粟市で行われることになっており、この機会に災害ボランティアセンター設置訓練を同時に実施したいと

考えています。

「災害は忘れないうちにやってくる」は、昨今の現実です。

台風災害等は、いくらか予測がつかますが、震災は、いつ起きるかわかりません。そのために、日頃からの防災と減災への取り組みは重要であり、これが多くの命を救う活動につながることは、これまでの教訓です。

また、西播磨の11市町村社協では、地元で大災害が発生した場合、近隣の社協同士がお互いに支援・協力体制をとりあうことを約束した「支援協定」を一昨年9月に締結しました。

本会の災害救援マニュアルでは、災害時には、どの部署のどの職員がどのように動くのか。また、災害ボランティアセンターの運営方法についても記載しています。このマニュアルが役立つ時は大変なことになった時ですが、それに備える訓練はくり返し行う必要があります。

(本部 山本正幸)

支部福祉活動の要。地域福祉推進委員を紹介します!!

宍粟市社協では、各支部に「地域福祉推進委員会」を設置し、「地域発で創る福祉活動」を進めています。

この推進委員会は、地域住民や関係機関の連携のもと、住民主体の福祉コミュニティづくりを推進することを目的として、また、各支部の独自の活動を具体化する場として、年間3～4回開催し、協議を重ねています。

この推進委員会は、支部ごとに10名～15名の委員で組織しています。

支部地域福祉推進委員は右のとおりです。

(敬称略、◎は委員長、○は副委員長)

山崎地域福祉推進委員会 14名

◎鶴崎和宏／○鎌田珠子／村上ノリ／水谷 雄／
西家 馨／釜井宣雄／後藤和敏／上田正和／
上月昭彦／吉岡利治／中藤浩延／前野真弓／
赤松 剛／前田重孝

一宮地域福祉推進委員会 10名

◎西林長太郎／○太田幸四郎／新宮善一／上山まさゑ／
岡田眞一／橋本 博／橋本ひとみ／松本重雄／
長田廣則／平岩康秀

波賀地域福祉推進委員会 12名

◎小椋清之助／○船積武士／上垣 博／岩口繁子／
川原智壽幸／秋田清治／船積攝子／米澤 敏／
谷尻博美／中原三千男／森本都規夫／植田美代子

千種地域福祉推進委員会 10名

◎堂場政彦／○山木康子／大山美次／金本幹雄／
藤原克馬／杉本京子／金本一二／金本 剛／
河井福吉／福山高文

